

第3 事業実績

I アイヌに関する総合的かつ実践的な研究の推進

1 アイヌ関連研究事業

アイヌに関する総合的・実践的研究を行う事業及び研究成果などの出版に対して助成を行い、アイヌの社会や文化に関する研究の推進を図った。

(ア) 研究・出版助成

- ・研究助成 アイヌの社会や文化に関する総合的・実践的研究を行うものの中で、優れた研究成果の期待できる研究計画に対し経費を助成した。
- ・出版助成 アイヌの社会や文化に関する出版物で、商業ベースに乗らないものや自費出版のため発行部数が少なく、研究者などに行き渡らないものについて助成した。

・助成申請・交付状況

(単位：千円)

区 分	予算額		申請実績		交付実績		残 額	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
研究助成	一般	1	4,600	8	7,911	6	4,469	131
	奨励	2	600	0	0	0	0	600
出版助成		8	9,600	14	27,468	8	10,568	▲968
合 計		11	14,800	22	35,379	14	15,037	▲237

(イ) 研究成果集

・登載審査委員一覧

役職名	氏 名	摘 要
委 長	村木 美幸	アイヌ文化財団助成事業審査委員長
委 員	養島 栄紀	アイヌ文化財団助成事業審査委員
委 員	阿部 一司	アイヌ文化財団事業運営副委員長
委 員	藪中 剛司	アイヌ文化財団事業運営委員
委 員	山崎 幸治	アイヌ文化財団事業運営委員

・審査（在宅審査）

審査期間	審査対象の成果品	摘 要
8月21日（金）～11月30日（木）	6件	各審査委員に成果品のコピーを送付し、在宅審査を行う。

・研究成果集の刊行

タイトル	作成時期	作成数	主な配布先
アイヌ関連総合研究等助成事業 研究報告第17号	12月	1,000	道内市町村教育委員会、主な公共図書館、大学付属図書館、博物館、北海道アイヌ協会等のアイヌ関係団体、研究機関など

II アイヌ語の振興

1 アイヌ語教育事業

① 指導者育成

アイヌ語教育の充実に向けて、アイヌ語研究者などの協力を得て、アイヌ語の文法や言語学の基礎を踏まえた効果的な指導方法などについての学習機会を提供し、アイヌ語指導者の育成を図った。

(ア) 講師一覧

氏名	摘要
太田 満	北海道教育大学旭川校非常勤講師
北原次郎太	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
佐藤 知己	北海道大学大学院文学研究科教授
志賀 雪湖	東京外国語大学大学院非常勤講師
中川 裕	千葉大学文学部日本文化学科教授
八谷 麻衣	平成28年度アイヌ語初級講座（旭川地区）講師

(イ) 講師会議

開催日	開催場所	協議事項等
5月19日（金）	アイヌ文化財団会議室	・今年度の指導方針について ・スクーリング・カリキュラム案の作成 ・フォローアップ・カリキュラム案の作成
10月15日（日）	NTTセミナーセンタ	第2回スクーリング・カリキュラム案の作成
11月 5日（日）	NTTセミナーセンタ	第3回スクーリング・カリキュラム案の作成
2月20日（火）	アイヌ文化財団会議室	・今年度の総括 ・フォローアップ講座・日程および開催地域の決定について ・指導者育成事業講師について

(ウ) スクーリング

開催期間	開催場所	受講生
10月13日（金）～15日（日）	NTTセミナーセンタ アイヌ文化財団会議室	芦沢 一行、片山 和美、 加納ルミ子、上河 彩、 木村 梨乃、椎久 慎介、 八重樫正恵
11月 3日（金）～ 5日（日）	NTTセミナーセンタ サッポロピリカコタン	
12月 8日（金）～10日（日）	NTTセミナーセンタ	

(エ) フォローアップ講座

開催期間	開催場所	受講生
6月30日（金）～ 7月2日（日）	千歳市 蘭越生活館	大須賀るえ子、大森 恵、小川 早苗、 川上 さやか、木幡 弘文、作田 悟、 関根 健司、多原亜希子、多原 良子、 中井 貴規、早坂 ユカ、山丸 賢雄、 山道ヒビキ

② 上級講座

アイヌ語教育の充実に向けて、アイヌ語研究者などの協力を得て、中級話者を対象に地域において講座を開設し、将来、アイヌ語の指導者となる上級話者の育成を図った。

開催地区	講師	受講者数	開催期間	開催回数
東京	中川 裕	15	4月22日（土）～ 3月24日（土）	12
浦河	関根 健司	5	9月30日（土）～ 2月10日（土）	12
札幌	結城 幸司	5	10月13日（金）～11月15日（水）	12
白老	大須賀るえ子	5	6月 4日（日）～ 8月27日（日）	12
白糠	藤村 久和	5	6月24日（土）～ 9月15日（火）	12
平取	大野 徹人	4	1月20日（土）～ 3月15日（木）	12
阿寒	藤村 久和	5	11月11日（土）～ 2月26日（月）	12

③ 初級講座

(a) 親と子のアイヌ語学習

アイヌ民族の親子を対象とし、アイヌ語話者及びアイヌ語研究者の協力を得て、アイヌ語の振興及びアイヌの伝統や文化の保存を図った。

開催地区	講師	受講者数	開催期間	開催回数
東京	瀧口 夕美	2家族 5名	4月22日（土）～ 3月24日（土）	21
札幌	澤井 アク	3家族10名	11月24日（金）～ 1月14日（日）	24

(b) アイヌ語入門講座

アイヌ語伝承者のさらなる掘り起こしと裾野の拡大を目的にアイヌ語を学習、習得及び継承しようとする意欲のある未経験者を対象とした入門講座を実施し、中級話者及び上級話者の育成につなげた。

開催地区	講師	受講者数	開催期間	開催回数
札幌	多原 良子 多原亜希子	24	6月10日（土）～ 12月9日（土）	20
東京	成田 英敏	33	5月10日（水）～ 3月28日（水）	20
苫小牧	作田 悟	19	6月28日（水）～ 2月28日（水）	20
白老	山道ヒビキ	18	6月9日（金）～ 2月9日（金）	18
むかわ	押野千恵子	13	6月2日（金）～ 11月17日（金）	20
釧路	奥田 幸子	23	7月5日（水）～ 11月22日（水）	20
旭川	川村 久恵	6	7月2日（日）～ 3月11日（日）	20

2 アイヌ語普及事業

① ラジオ講座

アイヌ語を広く一般に普及させるため、初心者向けのアイヌ語講座をS T Vラジオから放送し、多くの人にアイヌ語に触れ、学習する機会を提供するとともに、アイヌ語やアイヌ文化への理解の促進を図った。

(ア) 放送内容

放送局	放送日・放送時間	講師
S T Vラジオ	本放送：毎週日曜日 あさ 7:00 ～ 7:15 再放送：毎週土曜日 よる11:45 ～12:00	山丸 賢雄

(イ) テキスト

種 別	作成時期	作成数	主な配布先
平成29年度Vol. 2 (7月～9月放送分)	6月	3,500	S T V、道内市町村教育委員会、アイヌ協会、各地域アイヌ協会 他
平成29年度Vol. 3 (10月～12月放送分)	9月	3,500	
平成29年度Vol. 4 (1月～3月放送分)	12月	3,500	
平成30年度Vol. 1 (4月～6月放送分)	3月	3,500	

(ウ) 収録

平成29年度 第4回 放送分から平成30年度 第7回 放送分まで

② 弁論大会

アイヌ語を学んでいる人々の学習成果を発表する場として、アイヌ語による弁論大会を開催し、その学習意欲の向上を図るとともに、開催地域の人々にアイヌ語を直接耳にする機会を設けアイヌ語の普及を図った。

(ア) 開催日時

12月2日 (土) 10:00 ～ 17:00

(イ) 開催場所

北ガス文化ホール 中ホール (千歳市北栄2丁目2番11号)

(ウ) 出場者

募集期間 6月15日 (木) ～ 9月29日 (金)

区 分	発表内容	出場者数	
子供の部	自由	13組13名	
大人の部	口承文芸部門	英雄叙事詩、神謡、昔話など	21組21名
	弁論部門	自由	4組 4名
口演の部	自由	3組 3名	

(エ) 審査委員

区 分	氏 名
審査委員長	弓野 恵子
審査委員	岡田 路明、関根 健司、丸子 美記子

(オ) 表彰

区 分	発表内容	表彰者	
最優秀賞	子どもの部	自由	佐藤 千愛 (千葉県)
	大人の部	口承文芸部門 弁論部門	萱野 りえ (平取町) 川上 さやか (白老町)
優秀賞	子どもの部	自由	平良 咲希 (釧路市)、下倉 りうか (釧路市)
	大人の部	口承文芸部門 弁論部門	中村 勝信 (千歳市)、篠田 マナ (白老町) 渡邊 圭 (恵庭市)、池田 厚 (恵庭市)

(カ) その他

出場者募集ポスター : 900 枚 (6月作成)

出場者募集チラシ : 3,500 枚 (6月作成)

来場者募集チラシ	:	5,200 枚 (11月作成)
プログラムの作成	:	250 部 (11月作成)
報告集の作成	:	800 部 (2月作成)

Ⅲ アイヌ文化の振興

1 アイヌ文化伝承再生事業

① マニュアル作成

アイヌの伝統的な生活文化には、有形・無形を含め様々なものがあるが、その製作技術や儀礼などが失われつつある。このため、テーマ毎に映像と活字による「アイヌ生活文化再現マニュアル」、工芸品等の製作の様子や伝承活動を紹介する「アイヌ文化伝承活動アーカイブス」を作成し、広く人々の利用に供して、製作技術などの保存・伝承を図った。

種 別	作成時期	作成数	主な配布先
解説書製作「踊りⅤ 浦河・釧路春採編」	7月	270	博物館、図書館、各アイヌ協会、アイヌ関係団体など
映像制作「踊りⅥ 白老・新冠編」	3月	350	
アイヌ文化伝承活動アーカイブス Vol.2	3月	1,000	

② 実践上級講座

(a) 口承文芸伝承者（語り部）育成

ユカラ（英雄叙事詩）、カムイユカラ（神々の物語）、ウエペケレ（昔話）などの口承文芸の伝統を継承するため、伝承者が継承者へ「語り」を直接指導するなどして、新たな語り部の育成を図った。

開催地区	伝承者	継承者数	開催期間	開催回数
浦 河	太田 満	5	7月21日（金）～11月30日（木）	15
帯 広	木村寿美子	5	10月 3日（火）～12月22日（金）	15
札 幌	澤井 アク	4	6月14日（水）～7月21日（金）	15
白 糠	（音声資料）	4	6月23日（金）～11月24日（金）	12
平 取	木幡サチ子	5	6月 6日（火）～11月30日（木）	15
むかわ	木下 信子	5	6月10日（土）～9月19日（火）	15

(b) 伝統文化（木彫・刺繍等）指導者育成

アイヌの人々が多く居住する北海道や関東地区において、アイヌの民族舞踊や刺繍、木彫などの講座を開設し、アイヌ文化を担う指導者の育成を図った。

開催地区	講座種別	講 師	受講者数	開催期間	開催回数
東 京	刺 繍	丸子美記子	13	4月23日（日）～3月25日（日）	12
	木 彫	高野 繁廣	12	6月 4日（日）～3月 4日（日）	9
	編 物	河岸 麗子	12	6月 4日（日）～3月 4日（日）	9
八 雲	刺 繍	溝口 正枝	8	6月23日（金）～1月26日（金）	12
登 別	木 彫	山田 祐治	14	11月 2日（木）～12月 8日（金）	12
芽 室	刺 繍	山本みい子	5	6月18日（日）～2月11日（日）	12

平 取	刺 繡	貝澤美和子	11	6月19日（月）～1月15日（月）	12
長万部	刺 繡	三原久美子	13	6月 7日（水）～1月17日（水）	12
上士幌	木 彫	藤戸 幸夫	11	7月 8日（土）～10月 1日（日）	12
札 幌	編 物	杉村 忍	15	7月 3日（月）～11月27日（月）	12
浦 幌	刺 繡	廣川 和子	6	8月23日（水）～11月 8日（水）	12
むかわ	木 彫	尾崎 剛	15	10月24日（火）～12月13日（水）	12
札 幌	舞 踊	小松田初美	15	7月 7日（金）～12月 5日（火）	12
札 幌	舞 踊	早坂 ユカ	15	7月 6日（木）～10月19日（木）	12
伊 達	編 物	山崎シマ子	14	9月14日（木）～10月20日（金）	12
札 幌	木 彫	長縄 茂	15	7月 5日（水）～ 8月30日（水）	12
帯 広	編 物	高田 絹代	15	10月 7日（土）～12月17日（日）	12
白 老	刺 繡	岡田 育子	14	10月23日（月）～1月22日（月）	12
苫小牧	木 彫	作田 悟	15	7月12日（水）～12月27日（水）	12
阿 寒	木 彫	貝澤 守	15	11月17日（金）～ 2月19日（月）	12
旭 川	舞 踊	川村 久恵	5	7月 9日（日）～ 2月 4日（日）	11
白 老	舞 踊	下河 ヤエ	12	6月 3日（土）～11月 4日（土）	12

(c) 成果発表会の開催

(ア) 審査委員

役職名	氏 名	摘 要
委 員	川村 則子	伝統工芸家
委 員	水野 練平	伝統工芸家

(イ) 審査委員会

開催日	開催場所	審査対象作品	協議事項等
1月23日（火）	ギャラリー八重洲・東京	25点	一次審査～二次審査

(ウ) 表彰式・展示

区分	開催日または期間	開催場所	来場者数
表彰式	1月24日（水）	ギャラリー八重洲・東京	286名
展 示	1月23日（火）～28日（日）		

(エ) 受賞者一覧

賞区分	受賞者	部 門	作品名
優秀賞	北原 きよ子	刺繡の伝統的作品	カパラミプ
入 選	丸子 美記子	刺繡の伝統的作品	チカルカルペ
	神崎 千代子	その他の伝統的作品	タラ
奨励賞	大空 ひとみ	刺繡の伝統的作品	チヂリ
	今井 ノリ子	刺繡の伝統的作品	チヂリ
	石澤 健一	その他の伝統的作品	タラ
	弓野 正勝	その他の伝統的作品	タラ
	島田 あけみ	アイヌ文化に関する一般作品	タペストリー

③ 伝統工芸複製助成

アイヌの伝統的な工芸技術などを伝承するため、複製品製作を行う個人や団体に対して経費の一部を助成し、その伝承意欲や知識、技術の向上を図った。

(単位：千円)

予算額		申請実績		交付実績	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
29	12,900	41	13,573	38	11,976

④ 口承文芸視聴覚資料作成事業

ユカラをはじめとした口承文芸について、語り（アイヌ語）、日本語訳及び字幕を入れたアニメーション映像を作成し、アイヌの無形文化の紹介資料とするとともに、アイヌ語やアイヌ文化の入門教材として活用することによりアイヌ文化の振興を図った。

(ア) 口承文芸視聴覚資料作成事業編集委員一覧

役職名	氏名	摘要
委員	遠藤 志保	北海道博物館アイヌ民族文化研究センター研究職員
委員	岸本 宜久	北海道大学大学院文学研究科博士課程
委員	北原次郎太	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
委員	中井 貴規	国立アイヌ民族博物館準備室 研究員
委員	山道ヒビキ	一般財団法人アイヌ民族博物館教育普及係

(イ) 編集委員会

開催日	開催場所	協議事項等
6月21日（水）	アイヌ文化財団会議室	物語（題材）の選定 制作方針とDVDの構成について 今後のスケジュールについて
8月10日（木）	アイヌ文化財団会議室	企画提案書の審査と評価 スケジュールについて
9月29日（金）	アイヌ文化財団会議室	イラスト・動画作成について 効果音・ナレーションについて
11月6日（月）	北大アイヌ先住民・研究センター	今年度のアイヌ語テキスト編集における基本方針 「六つ首の化け物」「カラスの会話」テキストについて 仮録音および今後の作業について
11月7日（火）	北大アイヌ先住民・研究センター	「カラスの会話」仮録音について 今後の作業について
11月8日（水）	北大アイヌ先住民・研究センター	「からふとの昔話」仮録音について 「からふとの子守歌」仮録音について 今後の作業について
12月18日（月）	アイヌ文化財団会議室	委員長の再任 スケジュール全体協議 原画・絵コンテ確認
1月9日（火）	アイヌ文化財団会議室	日本語テキスト及び冊子編集についての確認
2月9日（金）	アイヌ文化財団会議室	解説テキストの最終確認 ムービー確認
3月1日（木）	アイヌ文化財団会議室	ムービー確認 制作物の確認

(ウ) 映像資料 (DVD)

タイトル	作成時期	作成数	主な配布先
オルシペ スウォブ6	3月	2,000	各アイヌ協会、関係博物館、道内小学校、アイヌ語や口承文芸の伝承を志す初心者等

⑤ 風俗慣習に関する伝承事業

アイヌ文化振興の一環として、文化継承者として次世代を担う人たちが、豊富な経験や知識を有するエカシ、フチからアイヌの風俗や慣習について継承する取り組みに要する経費の一部を助成し、アイヌ文化伝承活動の促進を図った。

(単位：千円)

予算額		申請実績		交付実績	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
7	1,750	3	640	3	600

2 アイヌ文化交流事業

① アイヌ文化交流事業

(a) 国内文化交流助成

アイヌ文化の伝承者などを招聘し、アイヌ語や民族舞踊、木彫などを学習・鑑賞・体験しようとする事業に対して経費の一部を助成し、アイヌ文化の理解を促進しようとする活動を援助した。

(単位：千円)

区 分	予算額		申請実績		交付実績	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
道内実施	25	25,000	85	45,776	83	38,400
道外実施	11	16,500	9	10,848	5	4,451
合 計	36	41,500	94	56,624	88	42,851

* 実施状況の現地確認

財団職員が、現地に出向き助成事業の実施状況を確認した。

件数 5事業、派遣者数 5名

(b) 国際文化交流助成

アイヌ文化活動に携わる個人または団体が、海外先住民族などとの交流を通して、その文化の伝承・保存活動などを学ぶとともに、自らの文化を紹介するため、海外への派遣や海外から招聘する国際交流事業に対して経費の一部を助成し、アイヌ文化の振興と普及啓発を図った。

(ア) 派遣事業

アイヌ文化活動に携わる個人または団体が、海外で文化交流活動を行う事業

(イ) 招聘事業

アイヌ文化の活動に関するセミナーなどを国内で開催する際に、海外から講師などを招聘する事業

(ウ) 助成申請・交付状況

(単位：千円)

区 分	予算額		申請実績		交付実績	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
派遣事業	4	4,800	4	4,171	3	2,535
招聘事業	2	800	2	1,675	2	1,567
合 計	6	5,600	6	5,846	5	4,102

② 青少年国際文化交流研修事業

アイヌ文化の伝承・保存に関心を持つ青少年について、海外の少数民族や先住民族と交流する場を設け、海外における文化伝承・保存活動の先進事例を直接学ぶことにより、将来のアイヌ文化の担い手としての自覚を喚起し、以て若年層のアイヌ文化伝承・保存活動への意欲向上を図るとともに伝承基盤の強化を図った。

(ア) ハワイ研修

- ・募集期間 5月1日（月）～6月30日（金）
- ・応募者数 18名 ・選考結果10名
- ・事前研修（研修生10名 事務局 3名）

実施日	場 所
10月21日（土）～10月22日（日）	アイヌ文化財団会議室

- ・海外研修（研修生10名 事務局 2名）

実施日	交流先
1月7日（日）～1月12日（金）	アメリカ合衆国ハワイ州（オアフ島）において ハワイアンとの交流

- ・事後研修（研修生7名 事務局2名）

実施日	場 所
2月17日（土）	アイヌ文化財団会議室

(イ) 青少年国際文化交流フォローアップ研修事業助成

この研修事業に参加した若者を対象に、アイヌ文化の継承者として育てていくため、「アイヌ若者委員会」が主催する行事等への参加に要する経費を助成した。

実施日	主催・題材	講 師
5月20日（土）	アイヌ若者委員会 事業検討会議	
8月26日（土）～27日（日）	アイヌ若者委員会 第1回研修会 『日高地方研修・平取編 ～二風谷の魅力を満喫しよう～』	貝澤 雪子 貝澤 守 川奈野一信 関根 健司 関根 真紀
2月17日（土）	アイヌ若者委員会総会	

3 アイヌ文化普及事業

① 伝統工芸展示・公開助成

アイヌの伝統的な工芸技術などを伝承するため、優れた工芸品の展示・公開を行う個人や団体に対して、経費の一部を助成し、伝承意欲や知識、技術の向上を図った。

（単位：千円）

予算額		申請実績		交付実績	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
6	3,386	5	2,442	4	1,709

② アドバイザー派遣

アイヌの伝統や文化についての理解を深め、技術を学ぼうとする文化団体や学校などからの要請に応じて、専門的な知識や技術等を有する人をアドバイザーとして派遣するとともに、各種学校向けにアイヌ文化体験講座をメニュー化した「学校向け（パッケージ）派遣」を設け、アイヌ文化の振興を図った。

(ア) 委 嘱 336名

(イ) 派遣実績 320件 延587名

(うち学校派遣：小学校 107件、中学校 27件、高校 20件、大学32件)

③ 工芸品展

アイヌの伝統的な工芸技術を用いて製作されたアイヌ民族衣装、生活用具、儀式用具、民芸品等を広く一般に公開するため、「アイヌ工芸品展」を開催し、アイヌ文化に関する知識の普及啓発及び伝承意欲の向上等の促進を図った。

(a) 工芸品展企画委員

(ア) 企画委員名簿

役職名	氏 名	摘 要
委員長	五十嵐聡美	北海道立近代美術館情報普及課長
委 員	貝澤 徹	アイヌ工芸家
委 員	北原次郎太	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
委 員	黒滝 博	鶴雅リゾート株式会社常務取締役
委 員	齋藤 玲子	国立民族学博物館准教授
委 員	佐々木利和	北海道大学アイヌ・先住民研究センター客員教授
委 員	佐藤 友哉	札幌芸術の森美術館館長
委 員	佐藤 弥生	札幌芸術の森美術館学芸員
委 員	中村 淳一	札幌芸術の森美術館副館長
委 員	野本 正博	一般財団法人アイヌ民族博物館館長
委 員	山崎 幸治	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授

(イ) 企画委員会

開催日	開催場所	協議事項
5月29日（月）	アイヌ文化財団会議室	開催要項について、出品資料の選定について、図録編集方針について、今後のスケジュールについて
7月11日（火）	アイヌ文化財団会議室	開催要領等について、展示内容について、今後のスケジュールについて
11月20日（月）	アイヌ文化財団会議室	開催要領等について、展示構成について、資料調査先について、今後のスケジュール・役割分担について

(b) 展覧会

(ア) 展覧会名称

「現れよ。森羅の生命－木彫家 藤戸竹喜の世界」

(イ) 資料借用先等

一般財団法人前田一步園財団、NPO法人元気の丘ギャラリー、株式会社ほくみん、株式会社北海道銀行、国立民族学博物館、正徳寺、鶴雅リゾート株式会社、角谷博氏、佐々木猛氏、藤戸竹喜氏、吉田いし氏

(ウ) 道内会場

- ・会 期 10月14日（土）～12月17日（日）
- ・会 場 札幌芸術の森美術館（札幌市）
- ・来場者数 12,070名
- ・関連事業

区 分	内容等
アーティスト・トーク	日 時 ①10月14日（土）②11月18日（土） 各回13:00～（30分程度） 会 場 展示室 講 師 藤戸 竹喜 来場者数 139名
藤戸竹喜 その彫りの技に 迫る	日 時 ①10月21日（土）②10月28日（土）③11月3日（金） 各回14:00～（30分程度） 会 場 エントランスロビー 講 師 藤戸 竹喜 来場者数 415名
ギャラリー・ツアー	日 時 ①11月5日（日）②11月25日（土） 各回14:00～（30分程度） 会 場 展示室 講 師 札幌芸術の森美術館学芸員 来場者数 64名
ミュージアム コンサート OKI×マレウレウ	日 時 11月19日（日） 14:00～15:00 会 場 B展示室 来場者数 46名

(エ) 道外会場

- ・会 期 平成30年1月11日（木）～平成30年3月13日（火）
- ・会 場 国立民族学博物館
- ・来場者数 23,864名
- ・関連事業

区 分	内容等
アーティスト・トーク	日 時 1月11日（木）14:00～（30分程度） 会 場 本館企画展示場 講 師 藤戸 竹喜 来場者数 約100名
みんぱくゼミナール 「木彫り熊から アートモニュメント まで」	日 時 1月20日（土）13:30～15:00 会 場 本館講堂 講 師 五十嵐聡美（北海道立近大美術館） 貝澤 徹（木彫家） 齋藤 玲子（国立民族学博物館准教授） 岡田 恵介（アイヌ文化財団） 来場者数 204名

みんなくウィークエンド・サロン ー研究者と話そう	日 時 2月25日(日) 14:30~15:30 会 場 本館ナビひろば・企画展示場 講 師 齋藤 玲子(国立民族学博物館准教授) 来場者数 67名
友の会講演会	日 時 3月3日(土) 13:30~14:40 会 場 本館第5セミナー室 講 師 齋藤 玲子(国立民族学博物館准教授) 来場者数 57名

(c) 常設展示

財団事務所内展示スペース、アイヌ文化交流センター内展示スペース、新千歳空港国際線展示コーナー、釧路空港展示コーナー、函館空港展示コーナー、帯広空港展示コーナー、新函館北斗駅、北海道庁展示スペース、胆振振興局等に衣服、木工芸品等を展示

(d) 貸出

所蔵資料の貸出 32件

(e) アイヌ文化学習トランクの作成 5セット

④ 文化フェスティバル

北海道及び北海道外において、広く一般の人々を対象に、民族舞踊をはじめとするアイヌ文化を総合的に紹介するアイヌ文化フェスティバルを開催し、アイヌ民族やアイヌ文化への国民的な理解の促進を図った。

開催日・開催地	内 容	来場者数
6月10日(土) 北海道名寄市 (名寄市民文化センター)	◇講演 加藤博文(北海道大学アイヌ・先住民研究センター教授) ◇音楽演奏 アイヌアートプロジェクト ◇口承文芸口演 関口真由来 ◇アイヌ古式舞踊 札幌ウポポ保存会 ◇実演 木彫 荒木 繁(公財)アイヌ民族文化財団伝統工芸家 (公社)北海道アイヌ協会優秀工芸師) 刺繍 貝澤 竹子(公財)アイヌ民族文化財団伝統工芸家 (公社)北海道アイヌ協会優秀工芸師)	248
7月15日(土) 北海道札幌市 (かでの2・7)	◇アイヌ文化賞・アイヌ文化奨励賞贈呈式 ◇歌等 二風谷アイヌ語教室 子供の部 ◇講演 佐々木利和(北海道大学アイヌ・先住民研究センター客員教授) ◇音楽演奏 アイヌアートプロジェクト ◇口承文芸口演 高橋ひとみ ◇アイヌ古式舞踊 浦河アイヌ文化保存会 ◇実演 木彫 高野 繁廣(公財)アイヌ民族文化財団伝統工芸家) 刺繍 貝澤かつえ((公社)北海道アイヌ協会優秀工芸師)	538

8月26日（土） 東京都品川区 （きゅりあん （品川区立総合 区民会館））	◇講演 甲地 利恵（北海道博物館アイヌ民族文化研究センター 研究主幹） ◇音楽演奏 居壁 太 星野 工 ◇口承文芸口演 川上 容子（アイヌ文化伝承者） ◇アイヌ古式舞踊公演 白糠アイヌ文化保存会 ◇実演 木彫 水野 練平（（公財）アイヌ民族文化財団伝統工芸家） 刺繍 高野 啓子（（公財）アイヌ民族文化財団伝統工芸家）	575
10月29日（日） 宮崎県宮崎市 （宮崎市民プラザ）	◇音楽演奏 阿寒口琴の会 ◇口承文芸口演 萱野 りえ（伝承者育成事業第3期修了生） ◇アイヌ古式舞踊 平取アイヌ文化保存会 ◇実演 木彫 荒木 繁（（公財）アイヌ民族文化財団伝統工芸家 （公社）北海道アイヌ協会優秀工芸師） 刺繍 飯田 米子（（公社）北海道アイヌ協会優秀工芸師）	433
11月26日（日） 神奈川県相模原市 （相模原市民会館）	◇講演 安達 登（山梨大学医学部法医学講座教授） ◇音楽演奏 カピウ&アパッポ ◇口承文芸口演 川上 容子（アイヌ文化伝承者） ◇アイヌ古式舞踊 ヤイレンカ ◇実演 木彫 貝澤 守（（公社）北海道アイヌ協会優秀工芸師） アットゥシ織 貝澤 雪子（（公社）北海道アイヌ協会優秀工芸師）	799

⑤ 博物館等アイヌ資料展示・公開等助成

博物館・資料館等が実施するアイヌ文化に関する体験学習やアイヌ関係の所蔵資料の公開に要する経費の一部を助成することで、来館者がムックリ等の製作体験をできる機会を増やすとともに、収蔵庫に収められている資料の公開を促進することによりアイヌ文化の振興と普及啓発を図った。

（単位：千円）

区 分	予算額		申請実績		交付実績	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
常設展示	1	3,000	1	2,997	1	2,916
企画展示	1	3,000	1	3,000	1	2,422
体験事業	10	3,000	2	447	2	381
合 計	12	9,000	5	6,444	4	5,719

4 アイヌ文化活動表彰事業

① 工芸作品コンテスト

アイヌの伝統的な技術による工芸作品やその技術を活用した現代的創作作品のコンテストを開催し、優秀な作品を表彰して製作技術の向上と芸術創作活動を促進するとともに、応募作品を展示し、アイヌ工芸作品を鑑賞する機会を提供した。

(ア) アイヌ工芸作品コンテスト審査委員一覧

役職名	氏名	摘要
委員長	出利葉浩司	北海学園大学客員研究員
副委員長	川村 則子	アトリエのんのん代表
委員	貝澤 徹	北の工房つとむ
委員	日高 青志	北海道立総合研究機構工業試験場製品技術部
委員	貝澤 竹子	アイヌ民族文化財団認定伝統工芸家
委員	藪中 剛司	国立アイヌ民族博物館設立準備室主任研究員

(イ) 審査委員会

開催日	開催場所	審査対象作品	協議事項等
8月17日(木)	かでの2・7 110会議室及び 展示ホール	147点	委員長の互選 一次審査及び二次審査 受賞作品決定

(ウ) 表彰式・展示

区分	開催日または期間	開催場所	来場者数
表彰式	8月21日(月)	かでの2・7展示ホール (北海道札幌市)	—
展示	8月18日(金)～21日(月)		617
巡回展示	8月26日(土)～29日(火)	きゅりあん(東京都品川区)	684

(エ) 受賞者一覧

賞区分	受賞者	所在地	部門	作品名
優秀賞	成田 千春	函館市	刺繍・伝統	チカルカルペ
	藤戸 康平	阿寒町	一般	マキリ(小刀)
	佐々木千代	室蘭市	一般	草木染めの布を使ってタペストリー
入選	佐々木千代	室蘭市	刺繍・伝統	チカラカラペ
	佐藤 秀子	札幌市	刺繍・伝統	ルウンペ
	川端 悦子	帯広市	一般	タペストリー
奨励賞	河波まさ子	札幌市	刺繍・伝統	ルウンペ
	佐藤こずえ	帯広市	刺繍・伝統	チンジリ(木綿衣)
	鈴木 ミチ	函館市	刺繍・伝統	ルウンペ
	山北由香子	江別市	刺繍・伝統	ルウンペ(木綿衣)
	小林 甫丈	愛知県	木工・伝統	マキリ
	杉村 忍	札幌市	一般	アイウシ(紫色)
	信太 成子	北斗市	一般	テンキ
	早坂 ユカ	札幌市	一般	タペストリー
	山田かおる	札幌市	一般	シウニントー(青い池)
	吉国 幸子	白老町	一般	ショルダーバッグ

② アイヌ文化賞

永年にわたってアイヌ文化の向上、発展に努め、特に功績のあった人たちに、アイヌ文化賞、アイヌ文化奨励賞を贈呈して、その功績を顕彰するとともに、アイヌ文化の継承・振興にかかわる諸活動を奨励・促進した。

(ア) 被表彰者推薦期間

4月3日（月）～5月10日（水）

(イ) アイヌ文化賞等表彰者選考委員一覧

役職名	氏名	摘要
委員長	菊地 修二	様似アイヌ協会会長
委員	浅川 泰	元北海道立近代美術館学芸部長
委員	宇治 義之	豊浦アイヌ協会会長
委員	弓野 恵子	東京アイヌ協会副会長
委員	高木喜久恵	シノッチャの会会長
委員	出利葉浩司	北海学園大学客員研究員
委員	三上 純一	むかわアイヌ協会会長

(ウ) 選考委員会

開催日	開催場所	協議事項等
6月8日（木）	アイヌ文化財団会議室	委員長の互選 アイヌ文化賞及びアイヌ文化奨励賞の選考

(エ) 贈呈式

開催日	開催場所	摘要
7月15日（土）	かでの2、7ホール	文化フェスティバル（札幌会場）において実施

(オ) 受賞者一覧

賞区分	受賞者（年齢）	所在地	備考
アイヌ文化賞	佐藤 けさ子（86歳）	上士幌町	
アイヌ文化 奨励賞（個人）	大竹 房子（67歳）	苫小牧市	
	作田 悟（69歳）	苫小牧市	
	下河 ヤエ（79歳）	白老町	
	高橋 志保子（67歳）	白老町	
	高橋 三三五（66歳）	新ひだか町	
	西田 正男（71歳）	釧路市阿寒町	
	平田 幸（60歳）	千葉県船橋市	

IV アイヌの伝統等に関する普及啓発

1 普及啓発促進事業

① 広報情報発信

(a) リーフレット等発行

アイヌの歴史や文化を紹介したパンフレットなどの広報資料を発行し、アイヌの歴史や文化について広く一般の人々の理解の促進を図った。

種 別	言語種別	作成時期	作成数	主な配布先
総合版 「アイヌ文化財団のあらし」	日本語版	6月	6,000	図書館、博物館、 アイヌ関係団体の ほか、主催事業への 来場者等
	英語版	6月	1,000	
文化情報版 「アイヌの人たちとともに」	日本語版	7月	10,000	
	英語版	7月	3,000	

(b) ホームページ

インターネット上でアイヌ文化などに関する様々な情報を国内外に発信し、その普及啓発を図った。外国人のために英文のページも開設している。

- (ア) アクセス数 84,153件（対前年比 1,150件増）
- (イ) アイヌ生活文化再現マニュアル「踊り」（平成29年度制作）の追加
- (ウ) 幼児向け絵本「しっぽ沼」（平成28年度最優秀賞受賞作品）の追加
- (エ) 児童書「キノコが生えた男の子」の追加
- (オ) 動画「オルシペ スウォプ5」の追加
- (カ) ホームページリニューアル(12月公開)

② 小中学生向け副読本の作成・配布

アイヌの歴史や文化についての児童・生徒の理解を深めるため、学校教育の場で使用される副読本を作成し、全国の小中学校へ配布してアイヌの歴史や文化などについての知識の普及啓発を図るとともに教員を対象に研修会を開催した。

(ア) 副読本等

種 別	作成時期	作成数	配布先
小学生用	7月	72,000	全国の公立小中学校（道内小4学年、中2学年児童生徒全員）、都道府県教育委員会、市町村教育委員会、図書館など
中学生用	7月	67,000	
教師用指導書	7月	39,000	

(イ) 教員向け研修会

開催日	開催地	講 師	事例発表者	受講者数
8月24日（木）	東京都	岡田 路明	文京区立明化小学校教諭 宇佐 照代	44
12月8日（金）	滋賀県近江八幡市	若園雄志郎	居壁 太	19
1月9日（火）	釧路市	岡田 路明	磯部 恵津子 木村 明日香	28
1月10日（水）	伊達市	平山 裕人	—	28
1月12日（金）	札幌市	阿部 一司	千歳市立末広小学校教諭	26

③ 親と子のための普及啓発

アイヌの伝統などを内容とした幼児向け絵本の原作を募集し、優れた作品を絵本にして北海道内の保育園などに配布するとともに、ユカラ、ウエペケレなどのアイヌ口承文芸やアイヌの伝承などの中からよく知られている物語を調査し、その物語を小学校低学年向けのアイヌ民話撰集（児童書）として北海道内小学校などに配布することにより、アイヌの歴史や文化についての知識の普及啓発を図った。

(7) 絵本原作募集

- ・募集期間 6月9日（金）～9月29日（金）
- ・応募点数 8点
- ・幼児向け絵本（原作）募集に係る選考委員一覧

役職名	氏名	摘要
委員	志賀 雪湖	東京外国語大学大学院 非常勤講師
委員	磯部恵津子	白糠アイヌ文化保存会会長
委員	乾 芳宏	元余市町立余市水産博物館館長
委員	杉浦 篤子	藤女子大学人間生活学部保育学科教授
委員	杉山 一夫	公益財団法人ふきのとう文庫評議員
委員	山道ヒビキ	一般財団法人アイヌ民族博物館伝承課伝承係

- ・一次審査（在宅審査）

実施時期	審査対象作品数	摘要
10月下旬	8作品	審査委員に出品作品(写)を送付し在宅審査を行う。

- ・選考委員会（二次審査）

開催時期	開催場所	協議事項等
12月1日（金）	アイヌ文化財団会議室	二次審査対象作品の選定～二次審査受賞作品の決定

- ・受賞作品

種類	氏名	作品名
最優秀賞	多羽田 勝	『ほら、見てごらん』
入選	間中美有紀	『ウポポ ウポポ』
奨励賞	信太 成子	『カントオロワ ヤクサクノ』
奨励賞	椎谷 朋郁	『テタラペを作ろう』

- ・絵本の刊行

タイトル	作成時期	作成数	主な配布先
『ほら、見てごらん』	3月	5,000	全国の図書館、北海道内の小学校、幼稚園、保育所など

(イ) アイヌ民話撰集（児童書）

- ・アイヌ民話撰集の作成・配布事業企画編集委員一覧

役職名	氏名	摘要
委員長	丹菊 逸治	北海道大学アイヌ・先住民研究センター准教授
委員	阿部かおり	北海道立図書館利用サービス部利用サービス部資料課主任
委員	高橋比登美	アイヌ文化活動アドバイザー
委員	関根 健司	平取町立二風谷アイヌ文化博物館学芸員補
委員	高橋 靖以	北海道大学アイヌ・先住民研究センター客員研究員

・企画編集委員会

開催日	開催場所	協議事項等
6月1日(木)	アイヌ文化財団会議室	委員長の互選 今後の制作について 今後の作業内容と作業分担
9月18日(月)～ 9月19日(火)	アイヌ文化財団会議室	収録作品の検討 今後のスケジュール
11月1日(水)～ 11月2日(木)	アイヌ文化財団会議室	内容の検討 今後のスケジュール

・アイヌ民話撰集(児童書)の刊行

タイトル	作成時期	作成数	主な配布先
アイヌの昔話 森で拾った不思議な赤ちゃん イソイタッ5	3月	5,500	全国の図書館、北海道内の小学校、 国内主要博物館など

④ セミナー

アイヌの伝統などについての基礎的な知識を有する方や学校教育・社会教育関係者などを対象に、アイヌの歴史や文化をテーマとする高度な内容のセミナーを開催した。

(ア) 東京会場(アイヌ文化交流センター)

開催日	講師	テーマ	受講者数
7月25日(火)	早坂 ユカ	アイヌとして生きる －文化伝承活動をふり返って－	27
	鈴木 仁也	日本の危機言語・方言政策におけるアイヌ語の 位置づけ	29
7月26日(水)	石辺 勝行	未来へつなぐアイヌ文化 －北海道千歳市立末広小学校の取り組みから	21
	藤村 久和	アイヌ文化の復興について	23
7月27日(木)	遠藤 志保	アニメ「オルシペ・スウォプ」で見る アイヌ口承文芸の世界	28
	長谷部一弘	北海道道南地方のアイヌ文化 －菅江真澄が観た蝦夷風俗－	28
7月28日(金)	齋藤 玲子	アイヌの木彫りと世相－木彫り熊からアート モニュメントまで－	29
	白石 英才	江戸時代日本人が見た19世紀サハリンの言語 世界	27
8月24日(木)	北原次郎太	アイヌの世界観－歌・語りからみる神々と人々 －	36
8月25日(金)	蓑島 栄紀	古代アイヌとその隣人たちをめぐるイメージ の変遷	29

(イ) 札幌会場(かでの2・7)

開催日	講師	テーマ	受講者数
8月7日(月)	白石 英才	江戸時代日本人が見た19世紀サハリンの言語 世界	47
	齋藤 玲子	アイヌの木彫りと世相 －木彫り熊からアートモニュメントまで－	47

8月8日(火)	蓑島 栄紀	古代アイヌとその隣人たちをめぐるイメージの変遷	48
	鈴木 仁也	日本の危機言語・方言政策におけるアイヌ語の位置付け	47
8月9日(水)	遠藤 志保	アニメ「オルシペ・スウォプ」で見るアイヌ口承文芸の世界	59
	石辺 勝行	未来へつなぐアイヌ文化 －北海道千歳市立末広小学校の取り組みから	58
8月10日(木)	長谷部一弘	北海道道南地方のアイヌ文化 －菅江真澄が観た蝦夷風俗－	56
	藤村 久和	アイヌ文化の復興について	58
8月21日(月)	早坂 ユカ	アイヌとして生きる －文化伝承活動をふり返って－	30
8月22日(火)	北原次郎太	アイヌの世界観 －歌・語りからみる神々と人々－	31

(ウ) 室蘭会場

開催日	講師	テーマ	受講者数
11月17日(金)	白石 英才	江戸時代日本人が見た19世紀サハリンの言語世界	14
11月18日(土)	長谷部一弘	北海道道南地方のアイヌ文化 －菅江真澄が観た蝦夷風俗－	16
	早坂 ユカ	アイヌとして生きる －文化伝承活動をふり返って－	15

(エ) 沖縄会場 ※台風の影響により中止

開催日	講師	テーマ	受講者数
10月29日(日)	鈴木 仁也	日本の危機言語・方言政策におけるアイヌ語の位置付け	—
	北原次郎太	沖縄のうたをアイヌ語でうたってみよう!	—
	北原次郎太	アイヌの世界観 －歌・語りからみる神々と人々－	—

⑤ 講演会

広く国民一般を対象に、全国各地でその地域の社会的状況を考慮しながら、アイヌの歴史や文化をテーマとした基礎的な内容の講演会を開催し、その知識の普及啓発を図った。

開催日・開催地	演題	講師	来場者数
6月10日(土) 北海道名寄市	海とアイヌ文化： 先住民考古学の視点から	加藤 博文 北海道大学アイヌ・先住民研究センター教授	248
8月26日(土) 東京都品川区	アイヌ音楽と出会う	甲地 利恵 北海道博物館アイヌ民族文化研究センター研究主幹	575
11月26日(日) 神奈川県相模原市	ミトコンドリアDNA研究で探るアイヌ民族の起源と成立	安達 登 山梨大学医学部法医学講座教授	799

⑥ イランカラフテキャンペーン

アイヌ語の挨拶の言葉である「イランカラフテ」をアイヌ文化の情報発信や理解促進のキーワードとして、アイヌ文化等への親近感や共感を高めるための取り組みを実施した。

(ア) 北海道とハワイ州の友好提携締結レセプション

日時	場所	内容
平成29年5月8日	ハワイ州 ホノルル	古式舞踊披露、キャンペーンソング歌唱

(イ) アイヌ文化ふれあいまつり（北海道民族共生象徴空間リンクージュ事業）

日時	場所	内容
平成29年9月18日～20日	札幌駅前地下歩行空間	古式舞踊、音楽演奏、木彫体験、ムックリ演奏体験
平成29年11月19日	イオンモール釧路昭和	古式舞踊、音楽演奏、木彫体験

(ウ) イランカラフテキャンペーン～ふれてみようアイヌ文化～

日時	場所	来場者	内容
平成30年2月3日	イオンモール香椎浜（福岡県）	220名	古式舞踊、口承文芸、音楽演奏
平成30年2月12日	イオンモール札幌平岡（北海道）	145名	
平成30年2月17日	THE MALL 仙台長町（宮城県）	180名	
平成30年3月24日	紙屋町シャレオ（広島県）	440名	

(エ) 北海道プロモーション事業（主催：外務省、北海道）

日時	場所	内容
平成30年3月23日	飯倉公館（東京都）	古式舞踊披露、工芸品展示、啓発資料配付

(オ) 空港での展示

展示期間	展示場所	主な展示品等
通年	新千歳空港	アイヌ工芸品、パンフレット
通年	釧路空港	アイヌ工芸品、パンフレット
通年	函館空港	アイヌ工芸品、パンフレット
通年	帯広空港	アイヌ工芸品、パンフレット

(カ) キャンペーン啓発ツール

タイトル		作成時期	作成数	主な配布先
エコバッグ		平成29年8月	4,000	各種イベント等で配布
		平成29年11月	4,000	
		平成30年3月	1,300	
クリアファイル		平成29年6月	10,000	各種イベント等で配布
		平成30年3月	8,500	
キャンペーンPRリーフレット	日本語版	平成29年6月	20,000	各種イベント等で配布
	英語版	平成30年3月	18,000	
	繁体字版		6,000	
ピンバッジ		平成29年6月	1,500	サポーター企業等へ配布
		平成30年3月	3,000	

タイトル	作成時期	作成数	主な配布先
「アイヌの人たちとともに」 展示用パネル (英語版・中国語版)	平成29年6月	各18	各種イベント等で展示

タイトル	作成時期	作成数	主な配布先
道南バスアイヌ語車内アナウンスリーフレット（アナウンス解説・バス停名一覧）	平成30年3月	各5,000	道南バス株式会社、平取町、関係機関等配布
道南バスアイヌ語車内アナウンスポスター（アナウンス解説・バス停名一覧）	平成30年3月	各585	

(キ) SNSによる情報発信

アイヌ関連イベントの様子や、イランカラプテキャンペーンサポーター企業のアイヌ文化に関する取組について取材し、作成した記事をFacebookに投稿し、情報発信を行った。

- (1) アイヌ文化関連イベント 12件
- (2) アイヌ文化関連施設及びキャンペーンサポーター企業 12件

2 アイヌ文化交流センター事業

首都圏に居住するアイヌの人々の交流活動やアイヌ文化の伝承活動などを支援するとともに、アイヌと一般の人々との交流の場やアイヌ文化などに関する情報収集・発信の場として、多角的な機能をもつアイヌ文化交流センターを運営した。

(ア) 常設展示の実施

(イ) アイヌ関係図書や映像資料の閲覧

種別	購入数	寄贈数	総数	備考
図書	19	49	4,832	
映像	0	0	431	DVD 97本含む

(ウ) イランカラプテ・アイヌ文化体験講座

開催日	開催場所	講座種別	講師	受講者数	受講対象者
8月3日（木）	アイヌ文化交流センター	編物	弓野 恵子	9	親子
9月7日（木）	アイヌ文化交流センター	舞踊	平田 幸里絵 東儀	10	一般
10月5日（木）	アイヌ文化交流センター	刺繍	八幡 智子	23	一般
11月2日（木）	アイヌ文化交流センター	刺繍	宇佐 照代	21	一般
12月7日（木）	アイヌ文化交流センター	木彫	島田あけみ	15	一般
1月11日（木）	アイヌ文化交流センター	木彫	平田 篤史	14	一般

(エ) 交流センター利用者（年間）

区分	利用者数	対前年比
アイヌ関係者	1,081	12
一般	3,254	△1,166
合計	4,335	△1,154

V 伝統的生活空間の再生

1 伝統的生活空間の再生事業

アイヌの伝統的生活空間（イオル）の再生をイメージして自然空間を形成し、その管理運営や自然素材の育成・利用を行い、アイヌ文化の保存、継承及び発展を図った。

① 空間活用等事業・自然素材育成事業

イオルの再生や自然素材育成のための場の確保、空間を活用した普及啓発、自然素材の入手から利用までの一連の過程を行うための管理運営体制の整備を図った。

また、アイヌ文化の伝承活動に必要なにもかかわらず不足している植物の育成やオヒョウニレ等の絶対量が不足している自然素材を植樹、栽培した。

実施地域	事業内容	委託先等
白 老	<ul style="list-style-type: none"> ・空間の管理 ・自然素材（ポロト休養林・陣屋地区・森野地区・ヨコスト地区）生育・管理 ・白老イオル事務所(チキサニ)運営 	白老町 (白老モシリ)
平 取	<ul style="list-style-type: none"> ・空間の管理 ・自然素材（丘畑・水辺空間・イオルの森）の試験栽培・管理、活用 ・チセの活用 ・ライブラリー事業 ・平取イオル事務所運営 	平取町 (二風谷民芸組合等)
札 幌	<ul style="list-style-type: none"> ・自然素材の栽培育成・管理 ・アイヌ文化普及啓発事業 	札幌市 (札幌アイヌ協会)
新ひだか	<ul style="list-style-type: none"> ・自然素材の栽培育成・管理 ・アイヌ文化普及啓発事業 	新ひだか町 (新ひだかアイヌ協会)
十 勝	<ul style="list-style-type: none"> ・自然素材の栽培育成・管理 ・ライブラリー事業 ・アイヌ文化普及啓発 	帯広市 (トカプチアイヌ協会)

② 体験交流事業

イオル空間や自然素材を活用し、一般の方々を対象にアイヌ文化の理解の促進と普及を図った。

実施地域	事業内容等	委託先等
白 老	<ul style="list-style-type: none"> ・海のイオル体験交流 10月7日(土)、14日(土)、11月11日(土) ・山のイオル体験 5月20日(土)、8月12日(土)、10月2日(月)、2月17日(土) ・川のイオル体験交流 10月26日(木)、27日(金) ・アイヌ文化の体験・体感 8月2日(水)・3日(木) ・ミニ体験交流 4月15日(土)、6月24日(土)・7月1日(金)、 7月29日(土)、8月26日(土)・9月2日(土)、 11月25日(土)・26日(日)、12月9日(土)・16日(土)、 1月13日(土)、1月27日(土)・28日(日)、3月10日(土) 	白老町 (白老モシリ)

	<ul style="list-style-type: none"> 普及啓発出前講座 7月3日(月)、9月1日(金)、9月2日(土)、9月5日(火)、 9月15日(金)、11月21日(火)・22日(水)、 12月21日(木)、1月31日(水) 	
平 取	<ul style="list-style-type: none"> キナアカラ(山菜採り)体験 5月13日(土) サラニブテセ(袋編み)体験 6月1日(木)～10月19日(木)(全20回) イチャ・イユタ体験 9月23日(土) イナウケ体験 10月2日(月)、3日(火) アシリチュエブノミ 10月14日(土) イオルの森散策・植樹体験 10月28日(土) ミニ体験交流(ブレスレット作り) 7月31日(月)、11月14日(火)、1月15日(月) 	平取町 (二風谷民芸組合等)
札 幌	<ul style="list-style-type: none"> アイヌの伝統料理調理体験 10月8日(日)、10月18日(水)、2月14日(水)、 2月21日(水) アイヌの民具づくり体験(マンタリ(前掛け)製作) 12月5日(火)～12月19日(火)(全5回) 1月16日(火)～1月30日(火)(全5回) アイヌの子どもの遊び体験 弓矢づくり 2月4日(日) かんじきづくり 2月18日(日) 	札幌市 (札幌アイヌ協会)
新ひだか	<ul style="list-style-type: none"> 自然素材栽培・収穫体験交流 10月20日(金)、25日(水)、26日(木)、31日(火) 伝統的サケ漁の再現・体験 10月27日(金) アイヌ文化歴史講座 10月15日(日) 伝統的アイヌ料理の実習体験 3月29日(木)、30日(金) 	新ひだか町 (新ひだかアイヌ協会)
十 勝	<ul style="list-style-type: none"> アイヌの薬用植物を学ぶ体験 7月2日(日) 自然素材を活用しながら実践的に学ぶ体験事業 8月20日(日) アイヌの薬膳料理体験 11月5日(日) 自然素材を活用しながら実践的に学ぶ体験事業 11月12日(日)～12月10日(日)(全5回) 	帯広市 (トカプチアイヌ協会)

③ 伝承者育成事業

イオル空間を利用して、アイヌ文化に関する知識や技術を身につけさせる事業を実施し、人材（伝承者等）の育成を図る。

区分	事業内容等	委託先
4期生 1年目	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者 4名 ・受講日数 243日 ・講義及び実習 	一般財団法人アイヌ民族博物館

④ 連携促進事業

各地域共通の課題の解決や取り組みの更なる充実を図るためには地域間の連携が重要であることから、地域間のネットワークの形成やイオル事業を担う人材の育成などを図る。

(ア) ネットワークの形成等

○ネットワーク会議の現地開催（十勝イオル・上士幌町） 10月18日（水）

- ・イオル実施地域の視察

○ネットワーク会議の開催 2月13日（火）

- ・事業実施地域の情報交換、実施地域以外への情報提供等
- ・自然素材の融通等
- ・地域の伝統文化、伝承者、活動団体等に関する情報の提供

⑤ 連絡調整等

(ア) アイヌの伝統的生活空間の再生事業検討会議

- ・委員一覧

役職名	氏名	摘要
委員長	三上 純一	むかわアイヌ協会会長
委員	木村 英彦	平取アイヌ協会会長
委員	高木喜久恵	シノッチャの会会長
委員	出利葉浩司	北海学園大学客員教授
委員	山丸 和幸	白老アイヌ協会副会長

- ・検討会議

開催日	開催場所	協議事項等
8月3日（木）	北海道 水産ビル （札幌市）	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度アイヌの伝統的生活空間の再生事業に関する検証・評価（案）について ・平成29年度アイヌの伝統的生活空間の再生事業実施計画（案）について ・平成30年度アイヌの伝統的生活空間の再生事業実施計画（素案）について ・釧路地域のイオル再生事業の事業展開計画及び年次別事業計画について

- ・アイヌの伝統的生活空間の再生事業に係わるイオル再生事業調整会議

開催日	開催場所	協議事項等
7月6日（木）	財団会議室 （札幌市）	<ul style="list-style-type: none"> ・釧路地域イオル事業展開計画について

2 伝統的生活空間（イオル）の再生事業関連事業（再掲）

上級講座		p. 7 参照
親と子のアイヌ語学習	⇒	p. 7 参照
文化フェスティバル		p. 16参照

VI 民族共生象徴空間の整備事業

民族共生象徴空間に整備される国立アイヌ民族博物館の開館に向けて、文化庁からの業務委託により、展示の企画、調査・研究業務の企画、資料調査など、博物館の管理運営に必要な準備業務を実施した。

1 国立アイヌ民族博物館企画・テーマ展示支援業務

- ① 企画・テーマ展示に関わる企画立案の支援
- ② 企画・テーマ展示の開催に係る実施体制等の構築支援
- ③ アイヌ文化等に関連する展覧会の内容調査

2 国立アイヌ民族博物館管理運営準備業務

- ① 調査研究・交流に関すること
- ② 展示企画に関すること
- ③ 資料に関すること
- ④ 教育普及及び広報に関すること
- ⑤ 施設管理に関すること
- ⑥ その他、管理運営準備に必要な事項

VII その他

○ 助成事業関係

平成30年度の助成申請に向け助成事業案内を作成、配付するとともに、地域に出向き説明会を開催した。

資料名	作成時期	作成数	配付先
助成事業案内30年度版	1月	500部	北海道アイヌ協会、各アイヌ協会、アイヌ関係団体、道内博物館ほか

・事業説明会

開催地	開催時期	説明者
新ひだか、帯広、東京、登別、札幌、釧路、網走、八雲	1月～2月	財団職員

第4 賛助会員の状況

区分	入会者数	退会者数	継続数	備考
個人会員	11	7	72	アイヌ文化普及啓発資料として、カレンダーを作成
法人会員	1	0	5	
合計	12	7	77	

第5 事業報告の附属説明調書

該当なし